玩具の色変化による驚きが生後92ヶ月にかけて重要であることが分かりました！

３社合同で脳波研究を実施し、研究成果論文が国際誌「BMC Neuroscience」に掲載！

※「 BMC Neuroscience 」：神経科学分野に特化した学術雑誌

調査概要

株式会社パイロットコーポレーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤﨑文男）は、愛知県医療療育総合センター　発達障害研究所（愛知県春日井市、所長：永田浩一）および、東海光学株式会社（本社：愛知県岡崎市、代表取締役社長：古澤宏和）と共同で、**メルちゃんの髪色変化に対する驚きの反応を、脳波で評価する方法を開発し、子どもが驚きを感じる能力（無意識に変化に気づく能力）は年齢とともに92ヶ月にかけて急速に発達し、その後ほぼ一定になること**を明らかにしました。本研究成果は、国際誌「BMC Neuroscience」に8月11日に掲載されました。

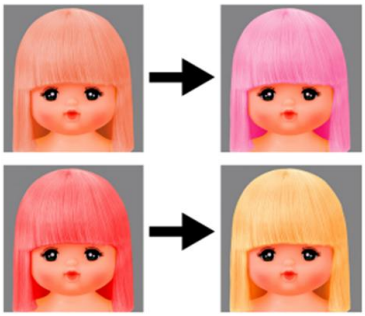

図１：　髪色の変化するお人形（メルちゃん）の画像

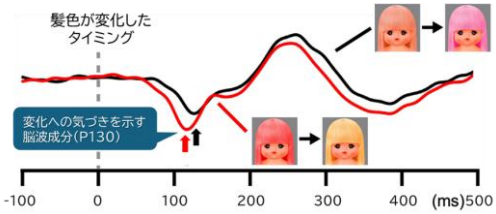

図２：　変化に気づいたときの脳波の様子

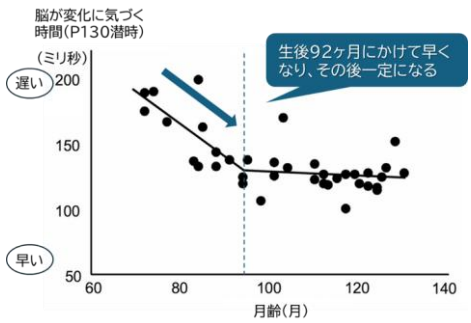

図３：　被験者ごとのP130脳活動までの時間（縦軸：ミリ秒　横軸：月齢）

現在、より低年齢（３～5歳）対象の研究と、同じお子さんを複数回計測する研究を行っています。これらの研究は、子どもの発達に関する理解が進むことと、年齢に適した玩具や効果的に驚きの体験ができる玩具の開発に寄与することが期待できます。

詳しくはこちら → https://www.pilot-toy.com/topics/docs/nouha20251001.pdf